



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

今さら言葉に表せる事ができないくらいの大震災が起こった。多くの命が失われ、生き残った者達も今までの生活には戻れない被害を受けた。当たり前前に生活を送っていたはずなのに、たった一瞬に全てを失ってしまった。本当に恐ろしい事である。

人類がどれ程無力であるか、改めて自然の力を知った。

それでも我々人類は生きていかなければならない。

多くの困難、苦難を乗り越えて生きていかなければならないのだ。

過去も帰っては来ない。

未来もわからない。

現在が一番大事なのだ。

今一瞬をしっかりと生き抜く事の積み重ねが人類にとって一番大事なのだ。

起こってしまった事は変える事は出来ない。

しかし、そこから新しく作り直す事は出来るはずである。

本来、日本という国は今までもそうだった。

多くの困難に直面しても必ず這い上がって来た。

今回もそうならなければならない。

しかし、一つ心配なのは平成時代の日本国民が温室育ちの所である。

気合いが少ない。

人任せが多い。

結局、自分の道は自分で切り開かなければならないのだ。

困っている人がいたら手を差し延べなければならぬのだ。

そしてそれぞれの心が一つとなつて、強い日本を作り直していけるはずである。

ダメージを受ける度に強くなる日本。

大丈夫だ。

生きてさえいれば何とかなるだろう。

とにかく生きていりやどうにかなるはずだ。

生き残った我々は立ち止まったり、甘えてはいけぬ。

ひよっとしたら我々が住んでいた所に震災が起こったかも知れないのだから。

今一瞬をしっかりと生き抜いて行こう！

まずはそこからだ。



佐藤